



## 大津・湖南地域方面での宿泊研修を実施しました！

「大津・湖南地域方面の医療と歴史・文化を学ぶ」と題し、8月22日(火)～23日(水)の夏季休暇期間を利用して、認定NPO法人滋賀医療人育成協力機構と協同で宿泊研修を実施しました。学生13名(医学生7名、看護学生6名)が参加しました。

1日目

### びわこ学園医療福祉センター草津

びわこ学園の概要や入所生活などの説明を受けた後、生活指導員の方の案内で施設内を見学させていただき、入所者の方々の生活を身近に感じることができました。

本人さんは  
どう思っているやら...



びわこ学園の中がひとつの街のようになっていて、医療施設としての側面と、障がいのある方たちの生活の場としての側面の両方を併せ持っていることがわかりました。びわこ学園は大学のすぐそばにありますが、内部の様子がどうなっているのかは知らなかったで、今回見学させていただけてよかったです。(看護学科2年)



草津総合病院  
済生会滋賀県病院  
(車窓から見学)

### 滋賀県庁

健康医療福祉部からの説明の後、県庁内を見学させていただき、特別に県議会議場に入れられました。



実際の地域での研修では訪れた事がある所もいくつかありましたが、住んでいても中々行かなかったりする所もありとても新鮮でした。普段は入れない議場を行う場所に入れたり、非常に貴重な経験をさせて頂きました。(看護学科2年)



### 三井寺・大津市歴史博物館

三井寺の境内を散策し、大津市歴史博物館を訪れました。写真や文献から大津の歴史を辿ることができました。



研修では滋賀県の様々な医療現場を見学させていただけるだけでなく、滋賀の文化や歴史を知る機会も得ることができ、他県出身の私にとって滋賀のことを学び、経験する非常に良い機会となりました。(医学科1年)



2日目

### 大津赤十字病院

病院の概要や災害拠点病院としての役割などご説明いただいた後、「3.11 初動の記録」をDVD観賞しました。その後、本学卒業生の医師・看護師との座談会や、救急外来や備蓄倉庫など施設案内をしていただきました。



今回の研修で何よりも楽しかったことは、大津赤十字病院で働かれている滋賀医科大学の卒業生である現役医師の方と色々お話をさせて頂いたことです。中でも「学生時代にもっと勉強しておけばよかったと思うが実際には無理だったと思う。でも今、患者さんを実際に目の前にすると、そのために一生懸命勉強しようと思うし、勉強している。」という言葉が心に残りました。(医学科1年)



### 比叡山延暦寺 横川靈安墓地

しゃくなげ会にゆかりのある阿彌陀堂を始め、根本中堂などを見学し、滋賀医科大学霊安墓地を訪ねました。

滋賀医科大学の解剖体電音機も見に行くことができ、看護学科の私にとってはとても貴重な経験となりました(看護学科は全員では行かないので)。改めて、この滋賀医科大学は地域の人々に支えられて成り立っているのだな、と強く感じました。(看護学科2年)



### 交流会(近江勸学館)

- 〔第1部〕 大津市民病院訪問看護認定看護師・和田幸子氏から「大津市の訪問看護の実情」、西山医院院長・西山順博先生から「在宅医療における全人的アプローチ」と題してご講演いただきました。
- 〔第2部〕 研修先の職員の方々や里親、プチ里親の方々や食事をしながら情報交換を行いました。



これからの在宅医療には医師や看護師に加え、介護士やケアマネジャーなどの福祉分野の専門職とも十分に連携していくことが必要であると学びました。(看護学科4年)

「チーム大津京」は、大変素晴らしい取り組みだと思った。一つの典型的な例として他地域でも形を変えて利用できる考え方はないだろうか、と考えさせられた。こうしたことを考えることを基盤にしつつ、地域医療を理解できる医師になりたいと思った。(医学科4年)

研修の様子は里親HPにも詳しく掲載しています！！

地域里親学生支援のホームページ  
(<http://satooya.shiga-med.ac.jp/>)をご覧ください！